

図書館だより

<http://www.hama-med.ac.jp/toshokan.html>

No.22 2013. 5



トピック1

ラーニングコモンズで何ができるの？

図書館では1階に新しくラーニングコモンズをオープンしました。ラーニングコモンズは従来の静かに集中して学習するスペースと異なり、仲間同士で勉強する、教え合う、共に学ぶ場所を提供することで、自主的な学習をサポートすることを目的とした施設です。

アクティブなゾーン



- ・ディスカッションOK
- ・予約の必要はなし
- ・壁は一面ホワイトボード
- ・プロジェクタの貸し出しOK
- ・無線LAN接続

- ・椅子や机が自由自在に可動
- ・グループで、仲間同士での学習に最適



自主ゼミでのようす



- ・医学と看護のDVD資料等が設置
- ・切り替えにより医用画像も鮮明に視聴可

静かなゾーン

ひとりひとり静かに学習できる
閲覧室もあります



トピック2

研究実績の評価に関する様々な数値的指標(メトリクス)と *Google Scholar Citations* についてご紹介します。

➤ インパクトファクター

Science Citation Index の情報をもとに決められた学術雑誌の評価指数(影響力)を測る手法を使って、どの学術雑誌に掲載されたかで個々の研究実績(論文)を評価する手法

➤ h-index

定義:「被引用数が少なくともh回あるものがh報以上ある。このとき、その研究者のh-indexはhである。」

➤ i10-index

定義:「10回以上引用された論文の報数。」

➤ Google Scholar Citations(2011.7月リリース、同年11月一般公開)

- ①事前に自分で設定が必要。
- ②自分で設定したキーワード毎に登録者が総被引用数でランキング表示される(活用例: 同じ関心領域の研究者がわかる)
- ③自分の論文の引用状況を調べることができる。

(下記はNanyang Technological University, Singapore: 南洋理工大学の、あるProfessorの例)

(例)



参考: 宮川 剛「科学技術研究における多様なメトリクスの重要性—研究者の視点から」*情報管理*, 5(3), 2012 https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/55/3/55_157/_pdf

なお、Google Scholar Citationsへの簡単な登録方法や機能については、下記個人ブログでも紹介されています。 <http://d.hatena.ne.jp/next49/20120604/p2>